

6361 - 1091
平成19年3月23日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成18年度病害虫発生予察注意報第11号について
平成18年度病害虫発生予察注意報第11号を発表したので送付します。

平成18年度病害虫発生予察注意報第11号

平成19年3月23日
宮 崎 県

病害虫名 カンザワハダニ

作物名 茶

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 -

3 発生量 多

4 注意報の根拠

- 1) 3月中旬の茶樹裾部調査における発生面積率は84.6%(平年値58.3%)と過去10年間で最も多い。また、寄生葉率は12.6%(平年値7.2%)で平年よりやや多い(図1)。
- 2) 気温の上昇にともない、今後も発生量が増加すると予想される。

5 防除上の注意

- 1) 一番茶萌芽後に密度が高い場合には、使用時期に注意し摘採前日数の短いダニ剤を選択して防除する。
- 2) 一番茶前の防除が不十分な茶園では、刈番茶終了後に防除を行う。天敵の働きが活発になる時期であるので、天敵に影響の少ない薬剤を選定する。
- 3) 農薬散布時には、周辺作物や茶園への飛散(ドリフト)防止を図るとともに、摘採前の周辺茶園の芽の状態に注意して防除する。
- 4) 本虫は葉裏のややくぼんだ部分に好んで生息するため、株の内部や裾の葉裏まで薬剤がかかるように、適正な散布量で丁寧に散布する。
- 5) 抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。
- 6) 防除薬剤等その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努める。

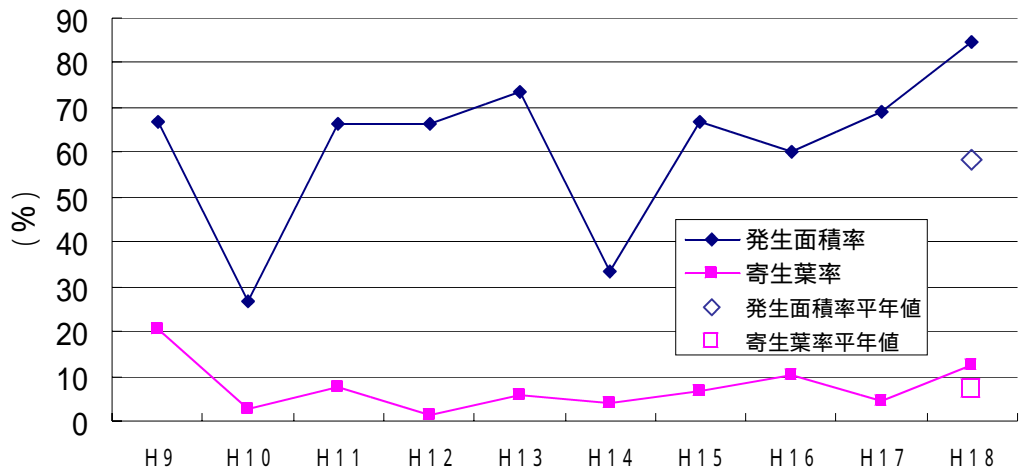


図1 カンザワハダニの3月の発生面積率と発生程度(裾部)

《連絡先》
 病害虫防除・肥料検査センター 邊見
 TEL:0985-73-6670 FAX:0985-73-7499
 ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>
 E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp